

報道関係各位

2019年8月1日

ラグビーワールドカップ 2019™ の公式レガシープログラム 「チャイルド・ファンド パス・イット・バック・カップ Delivered by DHL」 日本での第二回目を開催

- ・日本を含むアジアの国から 46 名の子どもたちが参加し、ラグビーや文化交流を通じて、困難な問題の解決方法などを学び、ライフスキル能力を向上させました。
- ・プログラム初日には、ウェブエリス・カップが登場し、ラグビーワールドカップのレガシープログラムを盛り上げました。

国際エクスプレスのグローバルリーダーである DHL と、国際 NGO のチャイルド・ファンドは、この度 2019 年 7 月 29 日から 8 月 1 日まで、大分県別府市で、日本では二度目の開催となる「チャイルド・ファンド パス・イット・バック・カップ Delivered by DHL」を開催しました。

アジアはラオスから 12 名の子どもたち、オーストラリアからは先住民アボリジニの 10 名の子どもたち、そして日本からも 24 名の子どもたちが招かれ、4 日間のラグビーに関連するカリキュラムや文化交流を通じて、価値あるライフスキルを学ぶ機会を得ました。プログラム初日の開会式には、ワールドラグビーによるトロフィーツアーの一環として、ウェブ・エリスカップが登場し、プログラムに花を添えました。

DHL ジャパン株式会社 代表取締役社長 山川丈人は、「ラグビーワールドカップ™のオフィシャルロジスティクスパートナーとして、大会 50 日前という節目に、チャイルド・ファンド パス・イット・バックの日本でのプログラムを再びサポートすることができ、非常に光栄に思います。未来ある若者たちに、ラグビーの理念を通じて価値あるライフスキルや、困難な課題を乗り越える力の習得の機会を与えることは、DHL が掲げる企業責任の理念と合致しています。」と述べています。

チャイルド・ファンドのパートナーであるアジアラグビーによりコーディネートされた 4 日間のプログラムでは、パス・イット・バックのコーチたちが「ジェンダー平等」、「子どもの暴力撤廃」、「人と国の不平等をなくそう」という 3 つの目標を含む、国連開発計画が定めた持続可能な開発目標（SDGs）の教育カリキュラムを実践しました。



プログラム最終日にはタグラグビー大会が行われ、カリキュラムの成果を発揮しました。



閉会式で子供たちにねぎらいの言葉をかける、DHL アンバサダーの大西将太郎氏。

DHL のブランドアンバサダーである元ラグビー日本代表の大西将太郎氏は、「前回東京で開催された第一回目のプログラムに参加して、このプログラムが子どもたちや若者にとって人生観を変える経験になり得ることを知っていました。子どもたちにポジティブな作用を生み出す本プログラムに再び関われることを、大変誇りに思っています。」と、話しました。

この「チャイルド・ファンド パス・イット・バック・カップ Delivered by DHL」では、ラグビーの要素と学習プログラムが融合され、最終日にはタグラグビー・トーナメントも行われました。子どもたちや若者が積極的に言語や文化の交流に参加し、フィールドの内外でも結びつきを強めました。

アジアラグビーのゼネラルマネージャーである、ロス・ミシェル氏は、次のように述べています。「日本にとって 2019 年は、ラグビーワールドカップ™の歴史において、もっともインパクトのある年になるでしょう。このようなイベントを通じて、私たちはラグビーを、子どもたちに一生のスキルと知識を与えるツールとして活用できます。」

DHL エクスプレスはチャイルド・ファンドと協力し、スポーツを通じてライフスキルを学ぶこのチャイルド・ファンド パス・イット・バック・カップ・プログラムを、地域を超えてより多くの子どもたち、若者たちにお届けすることを目指しています。

ナイジェル・スペンス、チャイルド・ファンド CEO は「DHL エクスプレスには、ラグビーが具現化する、情熱・尊重・規律・品位・結束と同じ特性があります。私たちは彼らとパートナーシップを組んでアジアの新しいリーダーの世代を築くことをとても誇りに思います」と述べています。チャイルド・ファンドは、2019 年 9 月 20 日から 11 月 2 日まで開催されるラグビーワールドカップ 2019™において、ワールドラグビーの主たるチャリティーパートナーとなっています。

本リリースについてのお問い合わせ先

DHL ジャパン株式会社 中山 Koichi.nakayama@dhl.com

TEL : 03-5479-2502

特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン 田中 y.tanaka@childfund.or.jp

TEL : 03-3399-8123

【DHL – 世界のロジスティクス企業】

DHL は、世界のロジスティクス業界をリードするグローバルな企業ブランドです。グループ各部門が提供するサービスは、他社の追随を許さない広範囲なポートフォリオを構成しており、国内および国際小包配達から、e コマースの商品配送、フルフィルメントサービス、国際エクスプレス、陸上・航空・海上輸送、産業サプライチェーンマネジメントにまでおよびます。世界 220 以上の国・地域で 38 万人の従業員が、人々とビジネスを確実に繋ぎ、グローバルな国際貿易を支えています。テクノロジー、ライフサイエンスやヘルスケア、エネルギー、自動車、そして小売りなどの産業、成長市場向けの特別なソリューションや、これまでの社会的責任へのコミットメント実績および強固な事業基盤から、「世界のロジスティクス企業」と明確に位置付けられています。DHL は、ドイツポスト DHL 傘下のブランドで、グループ全体の 2018 年の売上は 610 億ユーロ超に達します。

【チャイルド・ファンドとは】

子どもへの支援に取り組む 11 の団体からなる国際的なネットワーク。60 ヶ国以上で 1,400 万人以上の子どもたち、家族を支援する。教育、保健、子どもの保護を中心とした支援活動を行う。世界の中でも最も貧困地域の多くで活動し、長期にわたり信頼を築いてきました。チャイルド・ファンドは子どもたちやその家族、地元組織とパートナーシップを組んでともに働き、人道的な緊急支援や子どもの権利を守る活動を促進し、持続的な変化の保持を達成している。また、チャイルド・ファンドは教育、健康、子どもの保護を改善するプログラムの実施も行っており、「チャイルド・ファンド パス・イット・バック」を含む「スポーツと開発」のプログラムなど、若者や子どもたちのレジリエンス強化に焦点を当てたプロジェクトも実施している。

【チャイルド・ファンド パス・イット・バックとは】

スポーツを通じて社会課題の解決を目指す「スポーツと開発」のプログラム。チャイルド・ファンドの主導により、ワールドラグビー、アジアラグビーと協働している。貧困などの厳しい環境に暮らすアジアの若者や子どもたちを対象に、ラグビーとライフスキル学習を組み合わせたカリキュラムを行う。ジェンダー平等に重点をおき、参加する若者や子どもたちの半数以上が女子・女性という、高い女性の参加率を達成している。ラグビーワールドカップ 2019™の「レガシープログラム」にも選定されている。ラグビーは、ラグビーをベースにした年少者や初心者向けの競技で、タックルがなく、ラグビーよりも安全でプレーがしやすいとされる。